

愛知県立渥美農業高等学校（愛知県）

GLOBALG.A.P.
2020年取得（トマト）
2021年取得（キク）

所在地：愛知県田原市

栽培面積：20a

応募区分：人材育成の部

構成員：499名（全校生徒）

栽培品目：キク、トマト



←田原市長を表敬しGLOBALG.A.P.認証を取得したことを報告する生徒たち

▼GAPに取り組んだきっかけ

- 渥美農高は、GAPの教育を毎年実施しており、生徒の間にGAPへの関心が浸透。
- 渥美農高がある愛知県田原地域は、国内最大のキクの産地。今後、農産物輸出でGAP認証が求められること等も考慮に入れ、生徒自らがキクやトマトのGLOBALG.A.P.認証取得に必要な情報を収集、申請書類を作成し、GAP認証を取得。

▼GAPの継続に向けた取組

- 平成30年度から毎年度、農業、施設園芸が専攻の2年次、3年次の生徒（各年80名）がGAPを学習するとともに農場でGAPの取組を実習。
- GAP認証農場での実習で、散水、施肥、農薬等のチェックリストを基に生徒間で役割分担を行い、各要素を漏れなく実施。

▼生産効率の向上に向けた取組とその効果

- 過去の農作業記録簿の蓄積、毎年実施する土壌分析結果を生徒間で共有し、不足する肥料要素を重点的に施肥することで令和元年度～3年度の間で施肥量を金額換算で23%低減。
- また、IPMの考え方を導入し施設内に病害虫を侵入させない管理を行うことで、農薬使用量を16%低減。

▼波及効果

- 国内には花き専門のGAP認証審査員がいなかったが、渥美農高の働きかけにより国内初の花きのGAP認証審査員が誕生。
- 渥美農高でのGLOBALG.A.P.取得の経験、農場実習等の経験を基に、卒業後にGAP認証取得企業に就職し、GAPの実践に貢献する者も出てきており、今後、渥美農高を中心にGAPが地域に広まっていくことが期待される。



生徒たちによる自主的なGAP学習（取り組む作業を黒板に書き出し）



ハウスの中でGLOBALG.A.P.認証の審査を受ける生徒たち